



風っ子・環境キャンペーン

伊勢崎市

チヨウセンアサガオで 秋まで続くカーテン作り

伊勢崎市立あずま南小学校

伊勢崎市立あずま南小学校（三室町）は、15年ほど前からグリーンカーテンを作っています。

教室全体がとても暑くなってしまうので、力を発揮するのがグリーンカーテンです。



チヨウセンアサガオの苗植えをした栽培委員会のメンバー。協力してくれたボランティアの保護者や先生方といっしょに記念の一枚

グリーンカーテンは、照り返しを防ぐほか、日差しをさえぎって室内の温度を上げにくくする効果があります。葉っぱから水分が蒸発するとき、周りの空気から熱をうばうため、グリーンカーテンの近くの温度が低くなります。もちろん見た目も涼しそう。目指すは、エアコンに頼らない環境です。

今年、伊勢崎市からいただいた120株のチヨウセンアサガオでグリーンカーテン作りに挑戦。栽培委員会のメンバー22人と、保護者ボランティア5人が、プランターに手際よく苗を植えました。これから大事になってくるのがお手入れ。特に気を付けなければならぬのは、水やりです。プランターで育てる場合は、地面に植えるときよりも乾きやすいので一層注意が必要です。あげすぎは、根が腐ってしまうので注意。コツは、

教室全体がとても暑くなってしまうので、力を発揮するのがグリーンカーテンです。

表面が乾いてからたっぷり水をあげること。真夏は、昼も水をあげ、夏休みも途切れることなく手入れができるよう当番を決めるそうです。委員長は田代悠斗さん（6年）は「大きく育って、たくさんの方が涼しいと喜んでくれるカーテンを作りたい」と張り切っています。



2階まで届くグリーンカーテンが目標

伊勢崎市立あずま南小学校

さだかたひろゆき
定形裕之校長 611人
伊勢崎市三室町4290番地
TEL:0270-62-0132
創立/1981(昭和56)年
<http://www.isesaki-school.ed.jp/azumaminamisyo/>

「学校・家庭・地域で織りなす豊かな体験活動」をモットーに、大勢のボランティアが八木節、農業、緑などを教えてくれる、楽しい学校。



大きくなるのが
楽しみだね

群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

リユースはとていいこと

お兄さんやお姉さんのお下がりを着ることは、はずかしいことではありません。使えるうちは最後まで使い切るのがおしゃれです。モノの命が終わるまで大切に使うことは、ごみを減らすことにもなります。古着など使えるものをリユース(再利用)して、かしくて地球にもやさしい生活をしましょう。

群馬県環境アドバイザー 須永徹

風っ子・環境キャンペーンを応援します